

クルーズ船受入環境の改善 (和歌山下津港、新宮港)

“世界遺産地域 紀伊半島”の海の玄口！
～インバウンド誘致を促進～

貨物専用岸壁を有効活用したクルーズ船の受入環境整備

- ✓ 新宮港では、波を穏やかにする防波堤と未舗装だった荷捌き地を整備。大型クルーズ船の入港が実現。
- ✓ 和歌山下津港では、既存の貨物専用岸壁を有効活用し、背後の施設をリニューアル。クルーズ船の受入拠点化を推進。

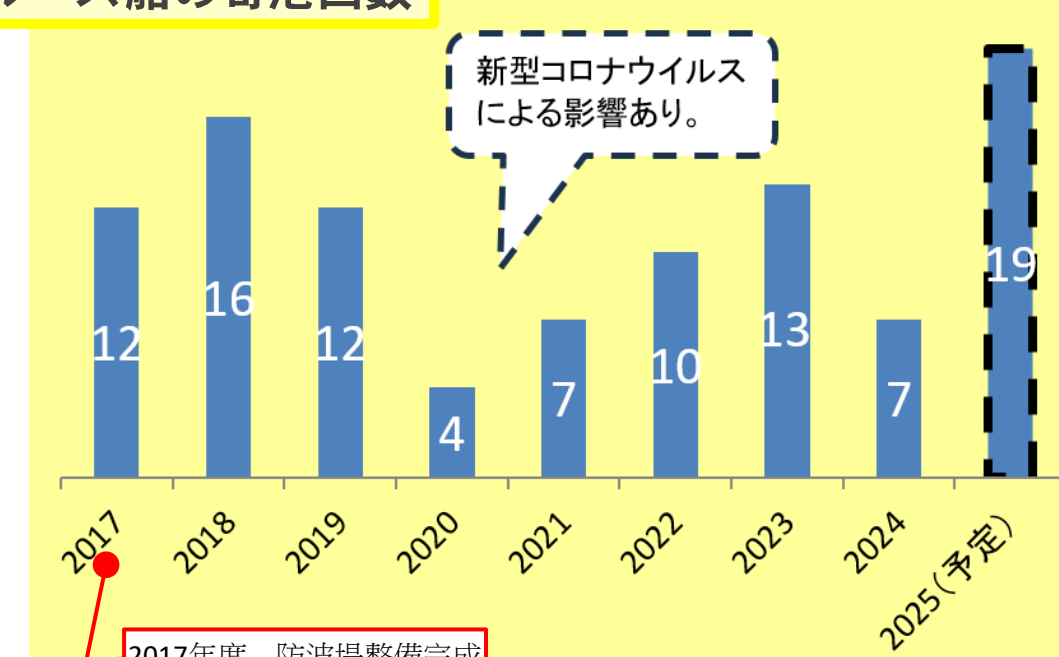


紀南地域の物流と観光の拠点



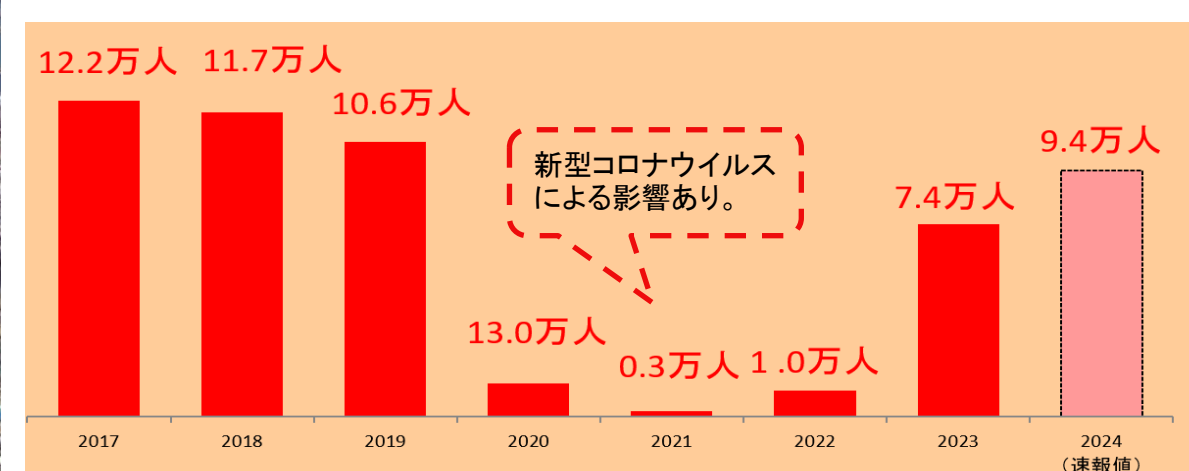
地域経済を支える物流・産業の拠点

クルーズ船の寄港回数



＜出典＞2017～2019、2022～2024：近畿地方整備局調べ、
2025(予定)：近畿地方整備局調べ

和歌山市の外国人宿泊者数の推移



＜出典＞2017～2023：和歌山県公表資料、
2024d(速報値)：和歌山市記者発表資料より

観光客の誘致への期待

- ✓ 高規格道路の整備も進捗しており、クルーズ船寄港地背後の観光圏域拡大による相乗効果※に期待。
※クルーズ船(500人乗り)1寄港あたり域内消費額が約1,000万円増加。

